

大阪市立大学都市防災シンポジウム

いのちを守る 都市づくり

~東日本大震災から見えてきたもの~

日時:平成24年3月15日(木)

18時30分~20時30分(受付18時~)

場所:ヴィアーレ大阪

大阪市中央区安土町3-1-3 御堂筋線本町駅1・3号出口より徒歩3分

大阪市立大学では、東日本大震災をうけて、分野横断の組織で「新たな都市防災」の研究・教育に努めています。この 報告会は、東日本大震災における災害直後から復興始動までの一年の<u>動きを整理し、これからの都市防災のあり方</u> を、市民とともに考えるために最終報告会を企画しました。これからの新しい都市防災に向けて、「いのちを守る」ことを 第一に、個別に考えていた災害を複合災害として見直します。多重防御の視点をもちながら、コミュニティ再生の立場 に立った新しい防災都市のあり方を考えます。今回は広く市民を対象としたシンポジウムとして開催します。

プログラム

司会·進行:重松孝昌(大阪市立大学工学研究科教授) あいさつ:西澤良記(大阪市立大学長)

第一部基調講演

「いのちを守る都市づくり」 宮野道雄(大阪市立大学副学長)

第二部 パネルディスカッション

コーディネーター・趣旨説明:森一彦(大阪市立大学生活科学研究科教授)

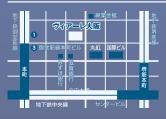
「東日本大震災の被害と課題」三田村宗樹(大阪市立大学理学研究科教授)

「災害時救命医療のあり方」山本啓雅(大阪市立大学医学研究科准教授、災害派遣医療チーム)

「大阪市における都市防災の対応」水野智雄(大阪市危機管理室)

「地域コミュニティ強化の取り組みと減災」高橋英樹(大阪市住吉区長)

ディスカッション コメント:加藤司(大阪市立大学経営学研究科教授)



地下鉄御堂筋線「本町駅」下車、1、3号出口より徒歩3分

関西空港から:大阪リムジンバスで<u>約50分</u> 大阪空港から:大阪リムジンバスで約30分

お申し込み先:大阪市立大学重点研究「都市防災研究」プロジェクト事務局(メールもしくはファックスのみ) 氏名、連絡先を記入してお申し込み下さい メール:bousai.jimukyoku@gmail.com ファックス:06-6605-3086

主催:大阪市立大学重点研究「都市防災研究」グループ URL: http://odrp.life.osaka-cu.ac.jp

参加費 定員200名

(先着順)